

efit+ for TCU Ver.1.08 アップデート概要

2007 年 12 月
株式会社 ニコン・トリンプル

本書では、efit+ for TCU Ver.1.08 で追加、変更された機能の概要を説明します。

■ GPS観測パッケージへのRTK/DGPS機能の追加

GPS観測オプション

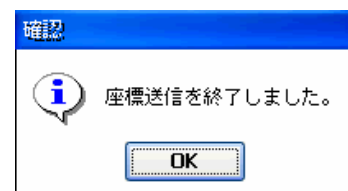
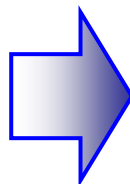
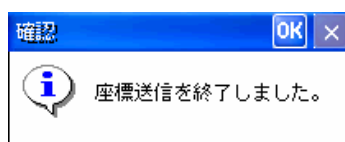
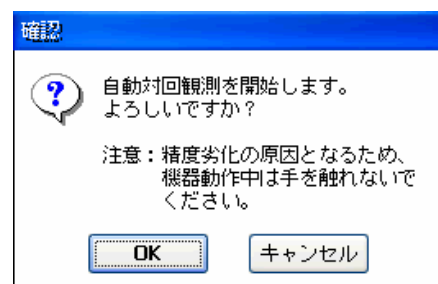
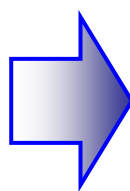
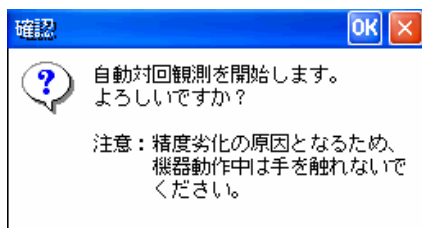
本バージョンより「GPS観測パッケージ」に下記アプリケーションを追加しました。

- ・RTK基準局設置
- ・RTK観測
- ・RTK測設
- ・RTK座標コレクタ
- ・環閉合チェック
- ・DGPS点探索
- ・DGPS座標コレクタ



■ 確認メッセージ画面の変更

「確認メッセージ画面」の右上の[OK]や[×]ボタンを押しやすい大きさのボタンに変更しダイアログ内に配置しました。



■ 測距時の自動視準の自動OFF機能の追加

- ◆「ターゲット詳細」画面に「標準測距開始時、自動視準をOFFにする」モードを追加しました。

「☐ 標準測距開始時、自動視準をOFFにする」にチェックを付けると、自動視準中に標準測距を行うと一旦、自動視準をOFFにして測距完了後、再度自動視準をONにします。

※TRKのときは自動視準をOFFにしません。(機能は無効です)

※本モードがONの時、動作は下記ようになります。

ターゲット自動視準中

↓

標準測距開始

↓

自動視準OFF

↓

標準測距完了

↓

自動視準ON

■ 操作モードのモード名変更

- ◆UTL→環境設定→操作モードのモード名を変更しました。

「スタンダードモード」を「シンプルモード」へ変更しました。

「エキスパートモード」を「標準モード」へ変更しました。

※現在、本モードに対応しているプログラムは、GPS観測パッケージ内のVRS観測のみです。

例) VRS観測の「仮想基準点算出」機能が、シンプルモードのときは使用できません。

■ VRS観測の機能改良

GPS観測オプション

- ◆観測画面内の「☐ 座標登録」を観測タイプが「検測」「点検」のときは、非表示にして、座標を登録しないように変更しました。

- ◆観測画面内で観測タイプに「観測」以外が選択されたとき、常に観測点リストの先頭を選択するように変更しました。

■ NMEA フォーマット出力の改善

- ◆UTL→GPS設定→VRS通信設定→NMEA出力設定で、出力レートに「5Hz」もしくは「10Hz」、「20Hz」を選択したとき、設定した出力レートで出力されないときがありましたので、改善しました。

NMEAタイプ	出力レート
GGA	10 Hz
GSV	1 Hz
GGK	5 Hz

NMEAタイプ: GGA 出力レート: 5 Hz

追加 削除 NMEA通信設定

以上